



ご あ い さ つ

盛夏の候 皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご愛顧、お引立てを賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、日本経済は海外経済の改善や政府が実施した経済対策等から緩やかながら上昇基調に転じております。

しかしながら、雇用環境や個人消費等の状況から景気回復の実感は乏しく、北海道経済および当地域の景況は厳しい状況が続いております。

このような中、当金庫は経営の健全性、安全性を高める諸施策を推進して参りました結果、預金・貸出金の期中平均残高では、預金は350,705百万円で前期比3.06%増加、貸出金は86,329百万円で前期比1.75%増加となり、収益面では、経常利益は1,780百万円、税引後当期純利益は1,206百万円を確保することができました。

また、剰余金の処分につきましては、自己資本充実のためその大部分を特別積立金等で内部留保することといたしました結果、会員勘定は42,308百万円（内、配当負担の無い利益剰余金は41,640百万円）となり、自己資本比率も前期比2.35ポイント上昇の65.15%と、極めて健全な経営体質を堅持しております。

折りしも、当金庫は本年10月に、創立65周年を迎えることとなりました。これ偏に、会員各位、お取引先各位のご愛顧、ご支援の賜ものと厚くお礼申し上げます。

今後も「地域との共存共栄」の理念の下、地域社会の発展に寄与すべく、役職員一同不断の経営努力を傾注して参る所存でございますので、何卒、変わらぬご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

平成22年7月

理 事 長 **増田 雅俊**